

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーに輝きを
Light Up Rotary



寛容の心で、
ロータリーの輪を広げよう

国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン 2014～2015
富津中央RC会長 若鍋 武良
国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2389 第40回例会 2015. 4. 30 曇のち晴

点 鐘：若鍋武良 会長
進 行：高島治雄 副SAA
ソング：我等の生業

会長挨拶

若鍋武良 会長



皆さん今日は。

昨日千葉市で開催された地区研修協議会ご苦
労様でした。私たちのクラブは、「クラブ会報優秀ク
ラブ賞」を受賞しました。これも会報・広報委員会
の方々初めクラブ会員全員の日頃の成果の結晶で
す。また19日、26日に開催されたABとC班による
家庭集会は、大変実りのある有意義な集会でした。
担当された方々ご苦労様でした。

事務員の村田喜身江さんが、健康上の理由で今
月末をもってお辞めになります。30年間大変ご苦
労様でした。

昨日からゴールデンウィークが始まっています。
ゴールデンウィーク中に国内外の旅行を計画され

ておられる方も多いと思われますが、現在海外に住
む日本人の総数は150万人、年間日本から海外に
出かけて行く日本人の総数は1,800万人(日本人
の7人に1人)とされています。観光庁の発表で
は昨年日本を訪れた外国人総数は1,341万人に
達したそうです。

私にとって思い出に残る旅と言えば「地球一周
98日間の船旅」です。

教職を定年退職した年 2004 年(平成 16 年)、ク
ルーズによる「第46回ピースボート地球一周旅行
(7月14日～10月19日)」に参加し、17ヶ国を訪れ、
世界に関する見聞を広めました。旅行の途中ギリシ
ャに立ち寄り、アテネオリンピックの柔道・卓球の競
技を観戦。エジプトでは、ギザのピラミッドとスフィン
クスを間近に見、イタリアでは、バチカンとナポリを
観光。ノルウェーでフィヨルドを遊覧し、その後、船
が北極圏に到達しました。世界2大運河のスエズ・
パナマ運河の航行も鮮明に覚えております(二つ
の運河共、通過するのにそれぞれ1日かかりでし
た)。またニューヨークでは9.11同時多発テロのメ
モリアルイベントにも参加しました。トパーズ号3
万1,500トンでの98日間の船旅は今でも生涯忘
れることの出来ない思い出になっており、船上での
仲間とは今も交流を深めています。

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



小久保

幹事報告

原田雅式 幹事



1. 例会変更のお知らせ、君津ロータリークラブ
日時:5月18日(月)18時～
場所:旅館かわな
内容:夜間例会及び新、現合同クラブ協議会
2. 木更津東ロータリークラブより会報が届いております。回覧します。
3. 訪台団、結団式のお知らせ
日時:5月6日 5時配車(佐貫元 JA 支店)
場所:上総リゾート鹿野山(旧鹿野山ホテル)

委員会報告

協議会出席者が各部会に参加して
会長部会

千葉一利 次期会長



全員の皆様が覚えておいて欲しいことのみ報告
します。

全体会より

1. 国際ロータリー (RI) に関して
会長は、スリランカ、コロンボ RC のKRラビンドランさんで、テーマは「Be a gift to the world」
世界へのプレゼントになろう。
2. 2790地区は
ガバナーは千葉 RC の櫻木英一郎さんで、テーマは「原点を知り考える」です。

3. 次年度の我がクラブのテーマは「どう生きるか、
諸事を見直し、実践しよう」です。

分科会より

1. 予算の審議
2. 研修会参加と会長資格について
3. 地区計画委員会の活動について
地区事務所の固定化の是非

会長部会は出席カードが配布され、会議終了後それを提出して帰るという厳しさ。資格の問題があるからか。

幹事部会

高橋裕之 次期幹事



幹事部会の報告です。幹事の役割の基本は変わり有りませんが、WEBを利用する方法に変更された報告等が多数有ります。半期報告や随時報告の内、会員情報の追加や変更がRIのMy・Rotaryの中のRotary・Club・Centralならびに地区WEBフォームに入力するようになりました。また、クラブの目標などもRotary・Club・Centralを通じて入力する事になりました。入力できるのは、会長・幹事・事務局長の3名です。次年度は、須藤会員を事務局長として登録してあります。

報告は以上ですが、先日お配りした委員会名簿に従って、各委員長および担当部長は、活動計画をできるだけワードもしくはエクセルで作成し、5月中に提出をお願いいたします。



カラー

ロ財団部会

若鍋武良 次期ロ財団委員長



ロータリー財団は1917年のアトランタ国際大会で創設されまもなく1世紀を迎えようとしています。その間あまりにも多くのプログラムを抱え、複雑で解りにくいものになっていましたので、その活動は2年前よりフューチャービジョン「未来の夢計画」活動となりました。「未来の夢計画」では、4プロジェクトにまとめられています。即ち①地区補助金プログラム、②グローバル補助金プログラム、③平和フェロウプログラム、④ポリオプラスプロジェクトの4つです。ロ財団は会員の皆さんからの寄附金で成り立っています。

奉仕プロジェクト部会

高島治雄 次期奉仕プロジェクト委員長



ティーパックの製造で世界的な企業に仕立てた次期 RI 会長のラビンドラン氏のテーマは”Be a gift to the world”(世界へのプレゼントになろう)です。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しようと呼びかけています。そして次期ガバナーの櫻木英一郎氏は地区の行動目標として“原点を知り考えよう”と唱えています。これらのことをこの地区協議会で学習しましたが、ちょっとここでわからないことがありました。RI 会長テーマと地区ガバナーの行動目標のどこに整合性があるのだろうかと……。かたや地

区研修リーダーによれば、クラブの自治権はあまりないというお話の中で何かしっくりしないものを感じながら全大会に参加して来ました。

午後は奉仕プロジェクト部会に参加しました。職業奉仕、社会奉仕などなど講師の皆様は、盲学校生並びに保護者をロータリーディに招待した勝浦ロータリークラブや船橋ロータリークラブのバスケット教室開催など地区補助金を利用した事例など大変熱く語られていましたが、当クラブの奉仕委員会の活動の在り方などを考えながら奉仕部会に参加してまいりました。

大網庄一郎 次期国際奉仕担当部長



ロータリアンの団体奉仕は個人奉仕の上に成り立つという発想から、奉仕プロジェクト委員会は、社会奉仕、国際奉仕に加え、今年度は職業奉仕委員会が加わり、3委員会が連携して活動することになりました。当クラブとしても本部の主旨に沿って3委員会で協調して活動したいと思います。

米山部会

須藤 隆 次期米山担当部長



協議会にはここ数年毎年参加する機会に恵まれています。毎年ガバナーが変わることにより、ロータリーを少しでも変えていこうとする雰囲気は感じます。私は米山部会に参加して、米山奨学会が、

海外の留学生を支援することにより、国際親善と世界の平和の架け橋に貢献するものであることを今さながら感じ、会員の皆様に寄付への積極的な理解を深めてもらう役割を担わねばと思いました。

管理運営部会

榎本守男 次期管理運営委員長



宇佐美ガバナーの挨拶に続き、地区研修リーダー山田パストガバナーは「クラブの活性化の為にしっかり計画をたて、それに基づいた取り組みをせよ」と話されました。櫻木ガバナーエレクトより次期RI会長ラビン・ドラン氏の次年度テーマ“Be a gift to the world”の解釈については、まず自分自身で考えることが肝心だと示唆されました。特に印象に残っているフレーズは、「仕事を持っている会員が充分活動できるクラブでなければならない」でした。仕事と奉仕の両立こそがロータリーの原点であり原動力になるとあらためて感じました。これから次年度の準備を整えたいと思います。

青少年奉仕部会

渡辺哲夫 次期新世代奉仕担当部長



午後1時から青少年奉仕委員会に出席してまいりました。青少年奉仕委員会はローターアクト委員会、

インターアクト委員会、ロータリー青少年交換委員会及びRYLA委員会の4つの委員会で構成されておりました。先進地区ロータリークラブは、クラブの名称を〇〇ローターアクトクラブを設立して活動しておりますが、当富津中央ロータリークラブは、市内3クラブと連携を図り、市内青少年の活動を支援しておりますので、今後も少年野球並びに市内中学校の野球大会を通じて同様の活動を支援してまいりました。次期からは従来の支援に加え文化的なクラブ活動等に対しても支援の範囲を拡大して取り組んでいければと考えております。

フェローシップ部会

小野恒靖 次期親睦担当部長



フェローシップ委員会は第2790委員会に置いて2年前には国際奉仕部門に属し、昨年度は管理運営委員会に属していました。本年度は増強退会防止委員会、広報公共イメージ委員会、フェローシップ委員会はガバナー直属の委員会になります。

本年度の目標は

1. 親睦の真の意味を、仲間意識を醸成すること置く。
2. その手段として一つのテーマを中心にしてクラブが横断的に集い、語り合うグループを沢山つくる。
3. 退会防止の手段ともなり得る。
4. ロータリアン以外の参加者を求めることで会員増強の手段ともなり得る。
5. その他の事業

以上が目標となりましたが、例会場以外の親睦活動として、スポーツ、旅行、音楽、麻雀、囲碁、歴史探訪、絵画、陶器、ゴルフ、卓球等沢山あります。同じ趣味や特技を持つ会員が集うことにより、仲間意識や連帯感が生まれ、退会防止につながります。更には、それぞれの会員が個々の趣味やスポーツ

のサークルに所属している場合、友人や知人を誘うことにより会員増強につながると思います。

卓話

「勤勉の動機」

志波 克 会員



先週、三枝会員が「人は無用の用を知らない」と言う荘子の言葉を紹介されましたが、今日はそれに勇気を得まして余り役に立たない話をします。ネットで調べましたら、同じく荘子の言葉として「井の中の蛙大海を知らず」とか、「命長ければ恥多し」とかありまして、なにか話の結果を見通されている感じですが、割り当て時間だけ頑張ります。

当クラブ初代会長の笠原さんのお話ですが、南米でアルギン酸の原料となる海藻を現地の漁師から買い集める仕事を視察した時、漁師達が半日位働いて後はブラブラしていたので、一日働いて収穫を増やせば新しい車や家が手に入ると話したが、今の暮らしで十分だし、今日の食費は稼いだと半日ブラブラの生活を変えてくれなかったそうです。

私達日本人の場合は、健康なのにブラブラしているのは後ろめたく、何か仕事をしたくなりますが、世界の半分近くの人々は生活に必要なだけしか働かないのだそうです。

そして生活に必要な以上に働く人の多い国が経済大国として繁栄しています。

では、何が人々を生活に必要な以上の仕事に駆り立てるのでしょうか、これについてチョイ読みの知識を披露します。

この勤労への動機づけの発祥は西欧と日本とは全く異なります。

まず西欧では、マックス・ウェーバーが指摘した事ですが、キリスト教プロテスタントの戒律による影

響です。勿論他の宗教においても勤勉の動機づけは多くあると思いますが、機会を見て勉強しようと考えているところですので今日はお話しできません。

そのプロテスタントの教義とは、宗教改革者カルヴァンの影響を受けた「予定説」と言われるもので、神は全能であり、あらかじめ世界のすべてのことを決めている、従って個々の人間が救われるか救われないかもあらかじめ決まっていると言うのです。そして続いて、人は自分を選ばれたものと信じ、神から与えられた義務としての職業に全力を尽くさない、となります。

同じキリスト教でも、カトリックでは人は祈りや善行を積み重ねれば死後天国に行けるとされていますが、この予定説では神は人間のためにあるのではなく、神のために人間があるので、人間の行為によって神の予定を変えることは出来ない、とされています。

こうなると、真面目に善行を積む人が居なくなるとも思えますが、事実は反対で、神の御心に添う行為が出来る自分こそ救済される予定の人である、との確信を持つ為に日々全力で職業(天職)に励む事になるのです。

しかも、この様に務めれば、職業の業績が上がりお金が貯まってきます、しかし、そこで浪費により怠惰な生活をすれば神の栄光に協力できなくなり、選ばれたものとの確証がなくなります。ですから余ったお金は再投資や社会奉仕に使い、質素堅実な生活をするので益々業績が向上することになります。

ざっとこんな具合にマルクスが「宗教はアヘンだ」と非難した宗教倫理が資本主義の精神となっていくわけです。ここでお気づきと思いますが、勤勉の動機づけが因果関係でなく、結果を信じるために原因を行い、心の平安を得ると言うことで、果因関係に近く、これから申し上げる日本のそれとは逆であるところが面白いと思います。

では日本人を仕事に向かわせる動機は何かというと、その源流は江戸時代初期に生きた鈴木正三にあるとされます。正三の教えは簡単に言うと、「世俗の業務は、宗教的修行であり、これを一心不乱に行えば成仏できる。」であります。先世の業因で士農工商の位置に生まれた責任で、それぞれの業務に正直に専心すれば、念仏など唱えなくても心の平安を得、極楽往生できる、と言うことです。

例えば商人については「利潤を目的とせず、自身の中にある仏(神)を信じ、仕事そのものに生きがいを感じ、仕事道を追求すれば仏果を得る。」としています。

そして正三の百年後に生まれ石門心学を興した石田梅岩は、「自らの務めを怠ることなく、日々努力を重ね、かつ儉約に努めれば、心の平安が得られる」と勤勉の道を説きました。

この様に日本の資本主義の精神のバックにも宗教がありますが、プロテスタントの果因関係ではなく、因果関係であり、ある意味神仏が手段となっている点が西欧の資本主義の原点と似ているようで、発想は全く異なっています。

以上、勤労への動機の発祥を簡単に話しましたが、こうして経済を発展させてきた宗教心由来の資本主義の精神も、近代化が進展し信仰心が薄れ、「内からの動機による勤勉」という宗教性がなくなり、「外圧的な動機による勤勉」となって来ました。これはある意味、資本主義社会存続の危機と言えます。

ロータリアンとしては、「内からの動機による勤勉」の心を持った次世代の育成に尽力することが大事であると思いますが、最初に述べた南米の漁師的生活を理想とする人々との相互理解も推進する必要があります。

参考 ネットで見かけた投書

「仕事はあくまで生活費を稼ぐための手段と割り切っているのが、年長者は気に食わないようだ。やらなきゃいけないことは一生懸命やっているつもりだけど、確かに周りはいいい気分しないかも。ただ、主体的に働いても評価や給料につながらないから、なかなか納得できない。」(27歳・男性)

ニコニコ BOX

若鍋武良 地区協議会に参加して、会報優秀クラブ賞を受賞して

*栗原典子 家庭集会に参加させていただいてポールマッカートニー武道館コンサート最前列まん中で夢のような1日でした

小野恒靖 地区研修協議会に参加して
榎本守男 //

渡辺哲夫 地区研修協議会に参加して
渡辺 務 //
高島治雄 当クラブ会報優秀クラブの表彰
千葉一利 地区協議会研修会ご苦労様でした。
志波 克 卓話をさせていただいて
山下 厚 よろしくお願ひします。

合計 11,000円

出席報告

栗原典子 出席担当委員

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	27/23	19	4		82.61%
前回	27/25	19	6		76.00%

「クラブ会報優秀クラブ」受賞

4月29日の地区研修・協議会において「活発なロータリー活動が展開されている様子が会報を通して伺うことができる」として表彰状を授与されました。



事務職員 村田喜身江さんの挨拶

長い間お世話様でした。30年とちょっと皆さんに良くして頂いて楽しく仕事をすることができました。本当に長い間有難うございました。